

# 企業間データ連携に グローバルデータスペースを活用する意義



NTTドコモビジネス株式会社

IDSA Board Member

Catena-X Japan Extended Workbench of Internationalization Committee

境野 哲 akira.sakaino@ntt.com



Action(活動) 週刊 経団連タイムス 2025年5月15日 No.3682

## 「産業データスペースの構築に向けた第2次提言」を公表

経団連は5月13日、提言「[産業データスペースの構築に向けた第2次提言](#)」(第2次提言)を公表した。「産業データスペース」は、企業・業界・国の垣根を越えて信頼性の高いデータを連携する仕組みであり、本提言は2024年10月に公表した「[産業データスペースの構築に向けて](#)」(第1次提言)を踏まえ、その実現に向けた具体的な施策と推進体制を提示している。提言策定の背景と概要は次のとおり。

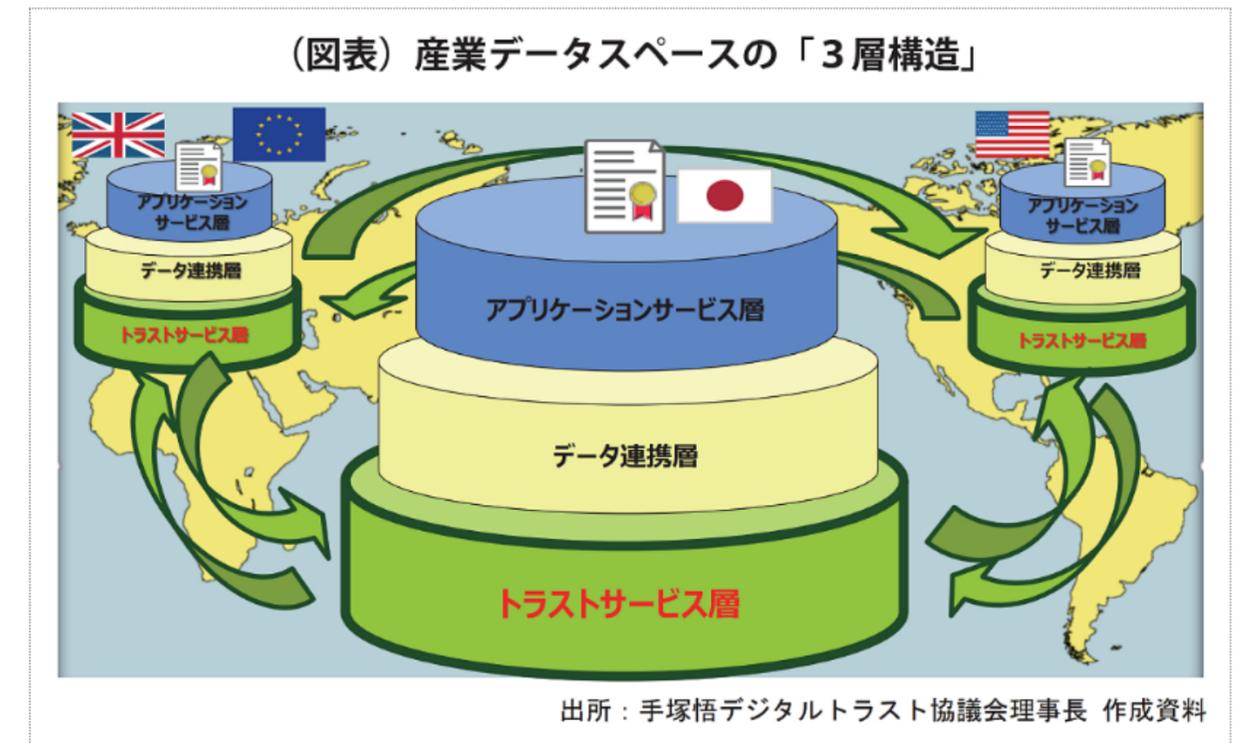
### ■ 提言策定の背景

政府内の各省庁や民間団体等では、データ連携・利活用の取り組みが個別に行われ、横断的な連携は十分とはいえない。また、国際連携に関する考え方や必要な機能要件に関する統一見解も確立されていない。こうした状況を受け、政府のデジタル行財政改革会議では、新たな法制度の必要性も含め、データ利活用制度のあり方に関する検討が進められている。

## 2025年5月13日 第2次提言を公表

このような背景のもと、経団連は、産業データスペース群の構築を通じて、デジタル技術を中核とした新たな価値創造のネットワークである「デジタルエコシステム」を実現すべく、第2次提言を取りまとめた。

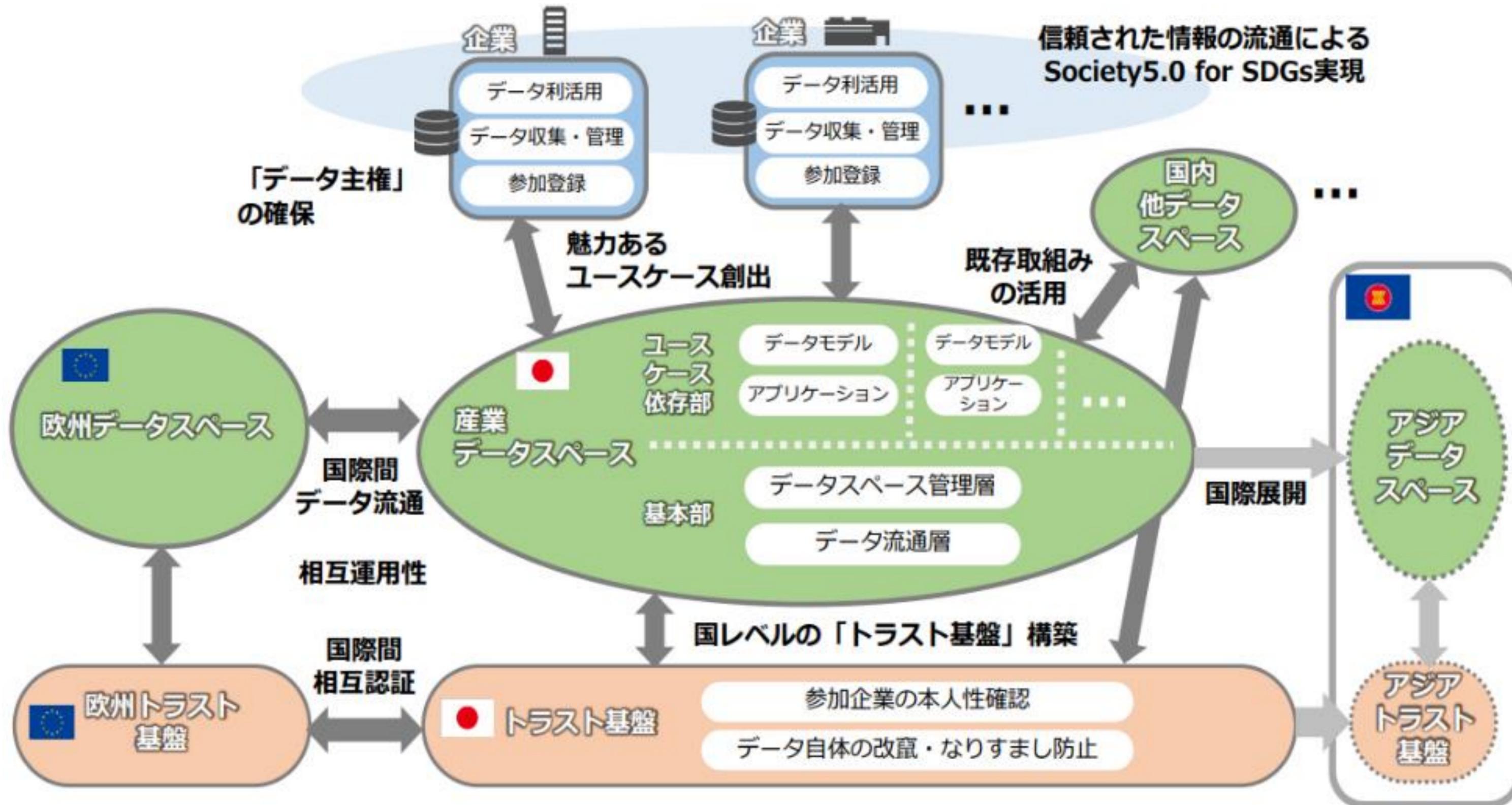
### ■ 提言の概要



(図表の[クリック](#)で拡大表示)

第一に、デジタル庁が司令塔となり、産業データスペース群の全体像を示すとともに、政府として統一的な戦略と工程表を早期に策定・実行すべきである。

# 経団連が構想するデータスペースとトラスト基盤

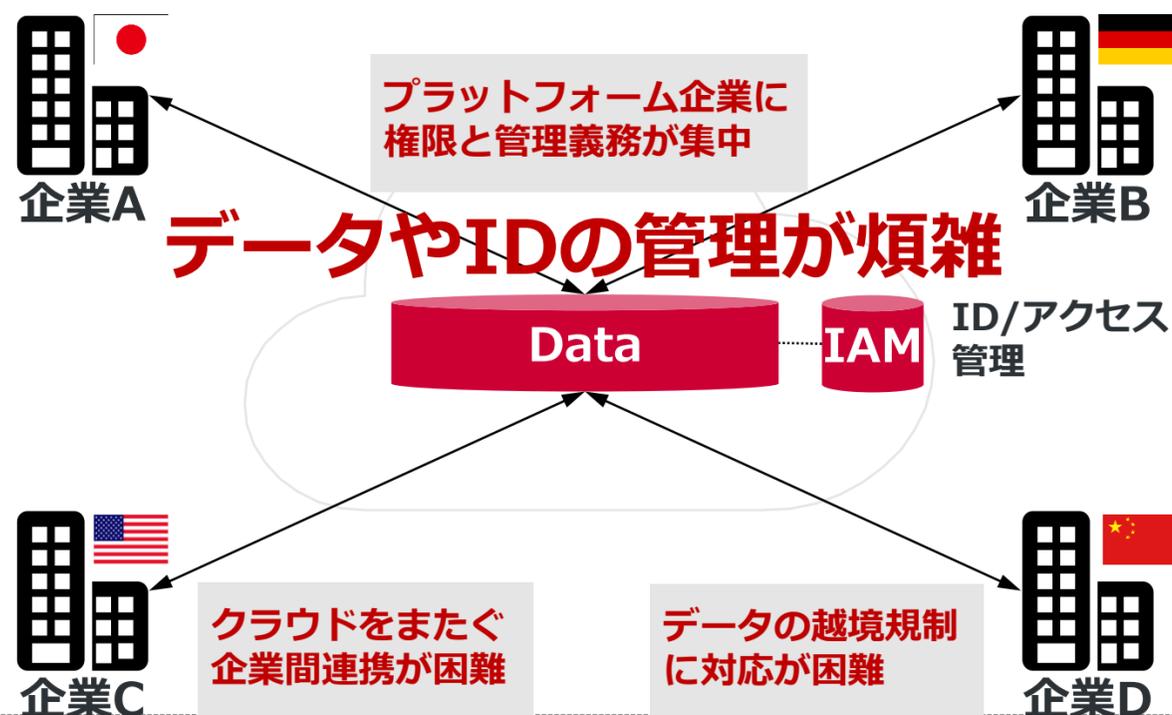


# データスペースは 多数企業間の国際連携に適する

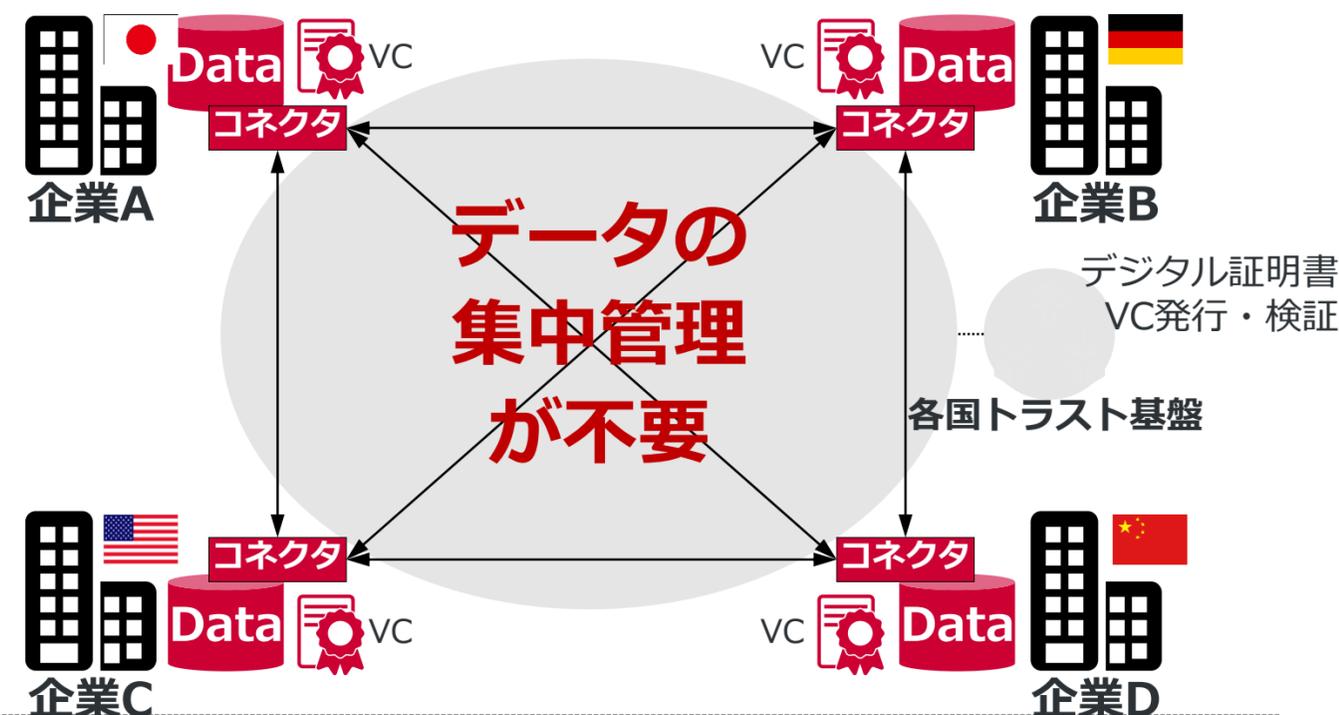
- ・分野間/企業間で 安心 安全 円滑に通信できる 世界共通のルールと標準にもとづく分散型のデータ交換ネットワーク
- ・従来の中央集権型プラットフォームとは異なり、データの開示範囲・開示相手を データ提供者が自らコントロール可能
- ・グローバルバリューチェーンでつながる無数の企業間の認証とデータ交換を自動化し コスト（労力・時間）を節約できる

構成

## 従来型のプラットフォーム



## データスペース



データ管理者

中央集権型

データ提供者が自ら管理

ID管理者

中央集権型

各ユーザーが自ら管理（分散IDとVC）

アクセス管理者

中央集権型

データ提供者が自ら管理（コネクタで自動制御）

# データスペースはデータ主権とトラストを保証

- ・データを第三者に預けずに、データ交換ソフト（コネクタ）で、データ提供者が開示範囲を限定できる
- ・デジタル証明書（Verifiable Credential）で、通信相手の本人性・属性・データの真正性を保証できる

## 概念

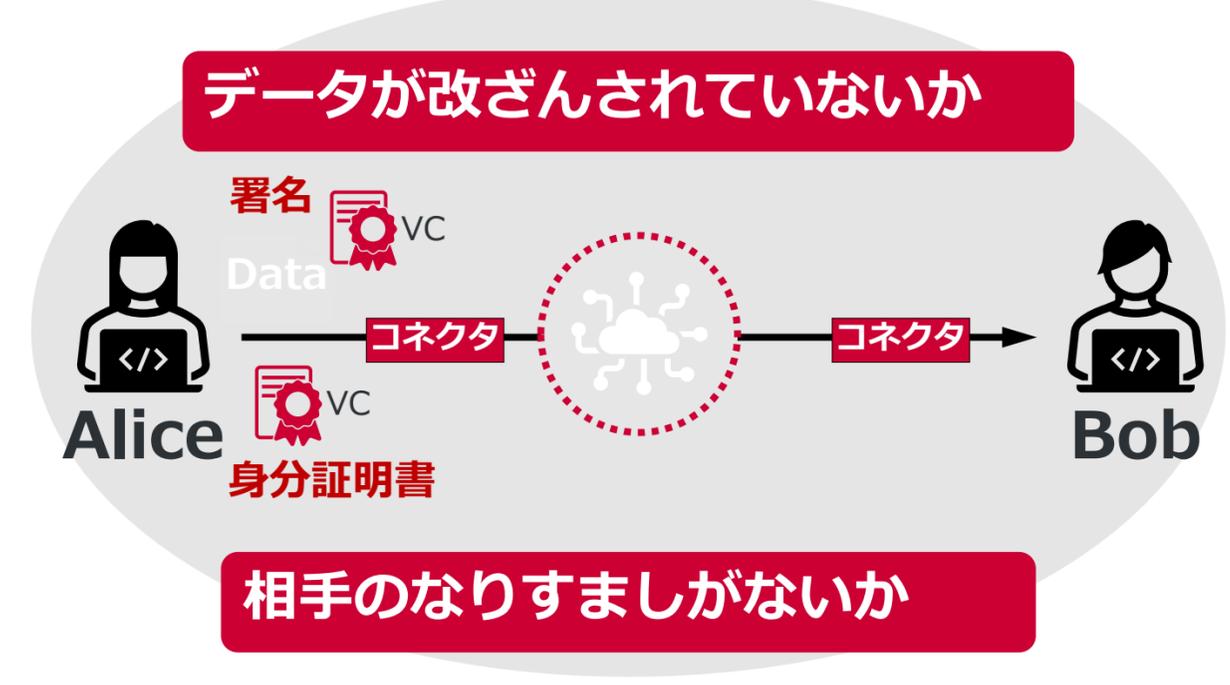
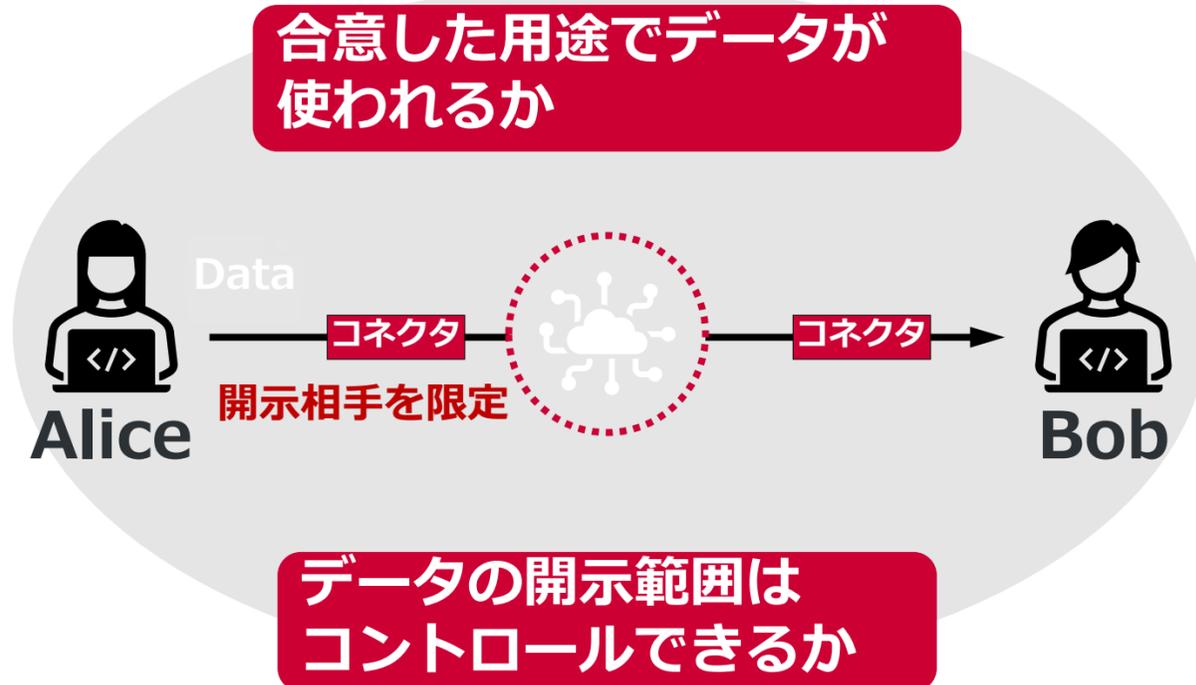
### データ主権（データ提供者の権利）

### トラスト（本人性/真正性）

## 意味

データ開示範囲や用途をデータ提供者が決める

通信相手の本人性やデータの真正性を証明する

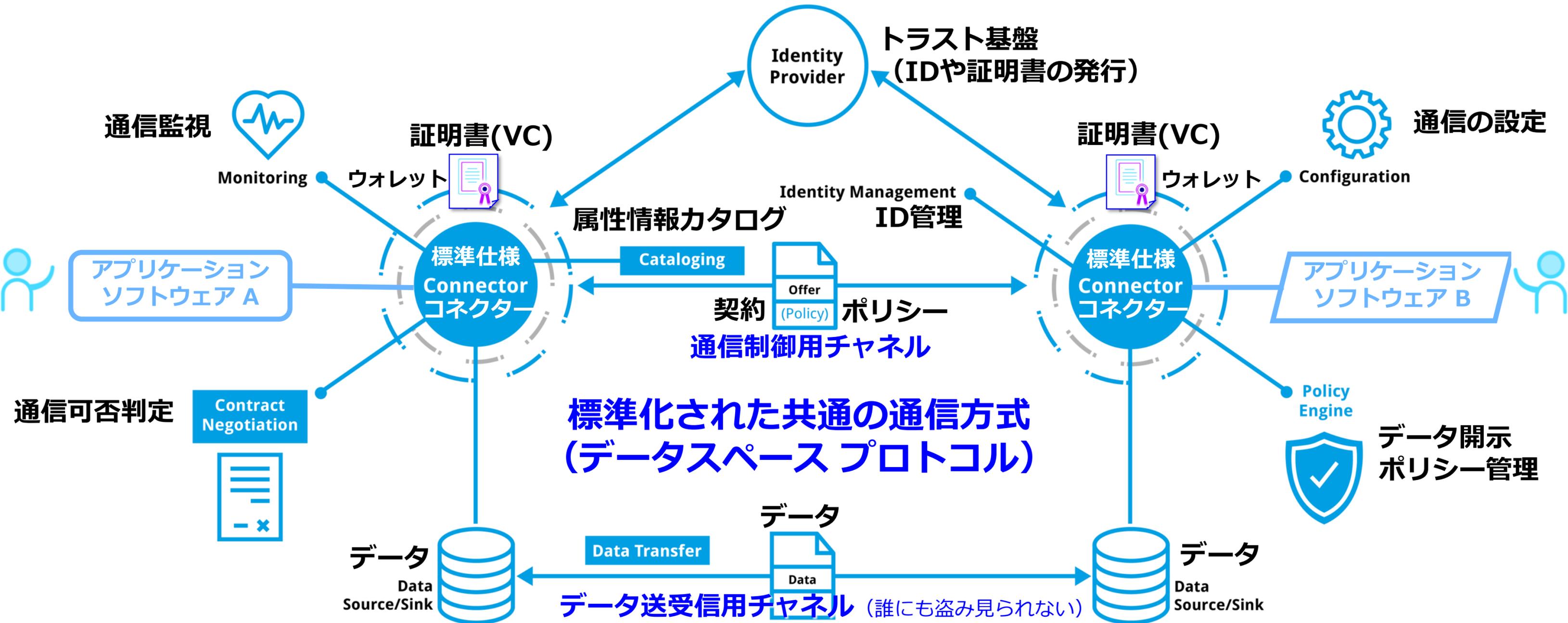


## データスペースの提供価値

- ・ 機微なデータが取引先以外に漏えいするのを防ぐ
- ・ 国家権力等による自社データの検閲・濫用を防ぐ

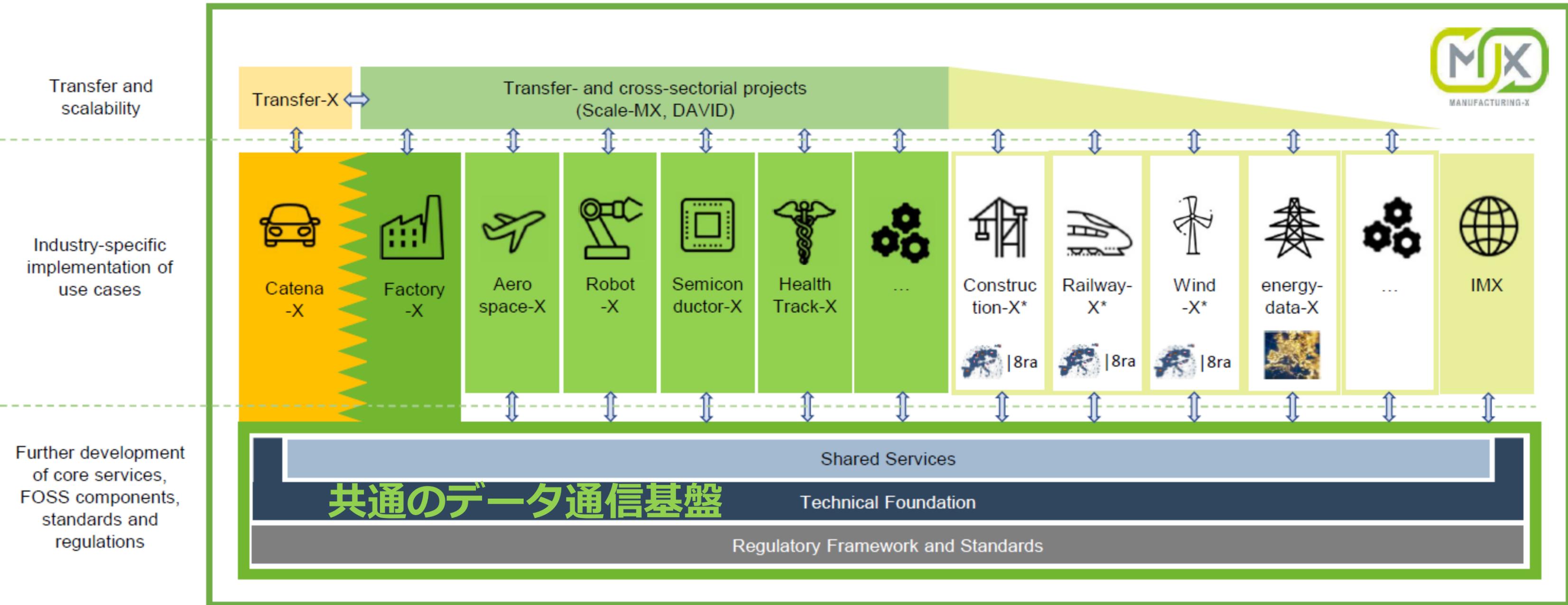
- ・ スパイ等のなりすましによる情報漏えいを防ぐ
- ・ CO<sub>2</sub>排出量データや品質データの改ざんを防ぐ

# データスペースでは 共通の通信方式を使う



異なるベンダーのソフトウェアの間でも、PCFデータなどを 意味情報として共有できる

# 製造業の国際データスペース Manufacturing-X



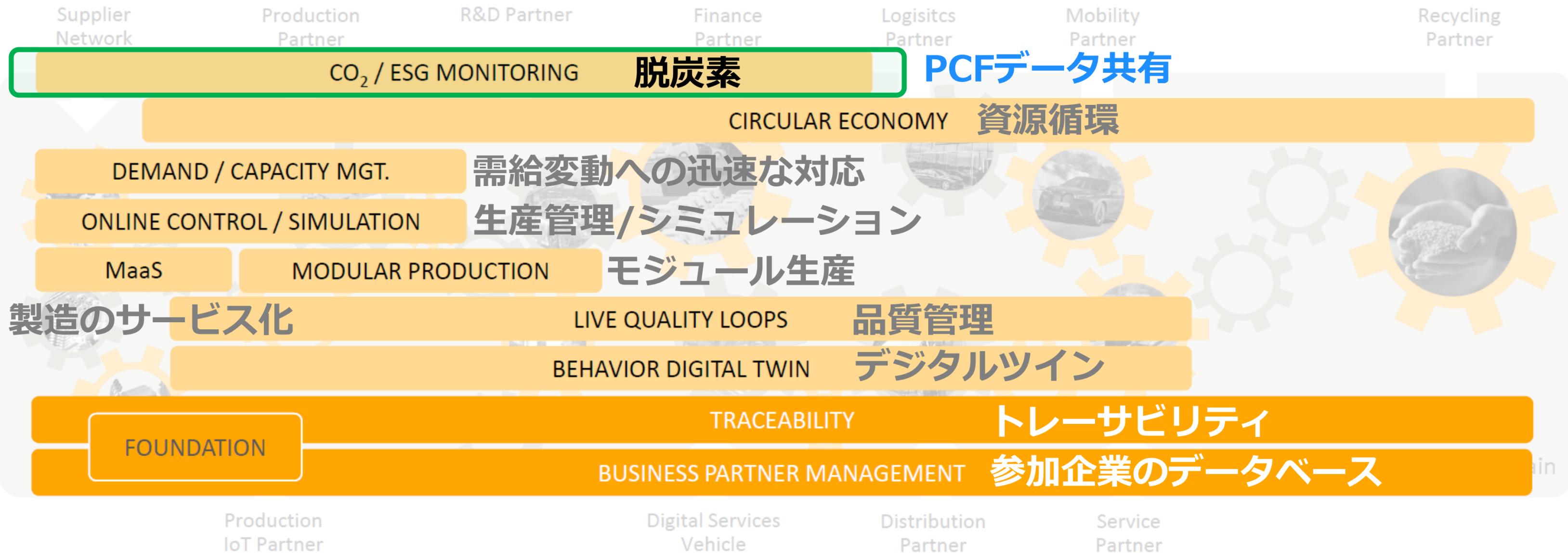
\*Project in preparation

All icons by icons8

自動車 化学 ロボット 半導体 航空宇宙 エネルギーなど 複数業界が利用する共通基盤

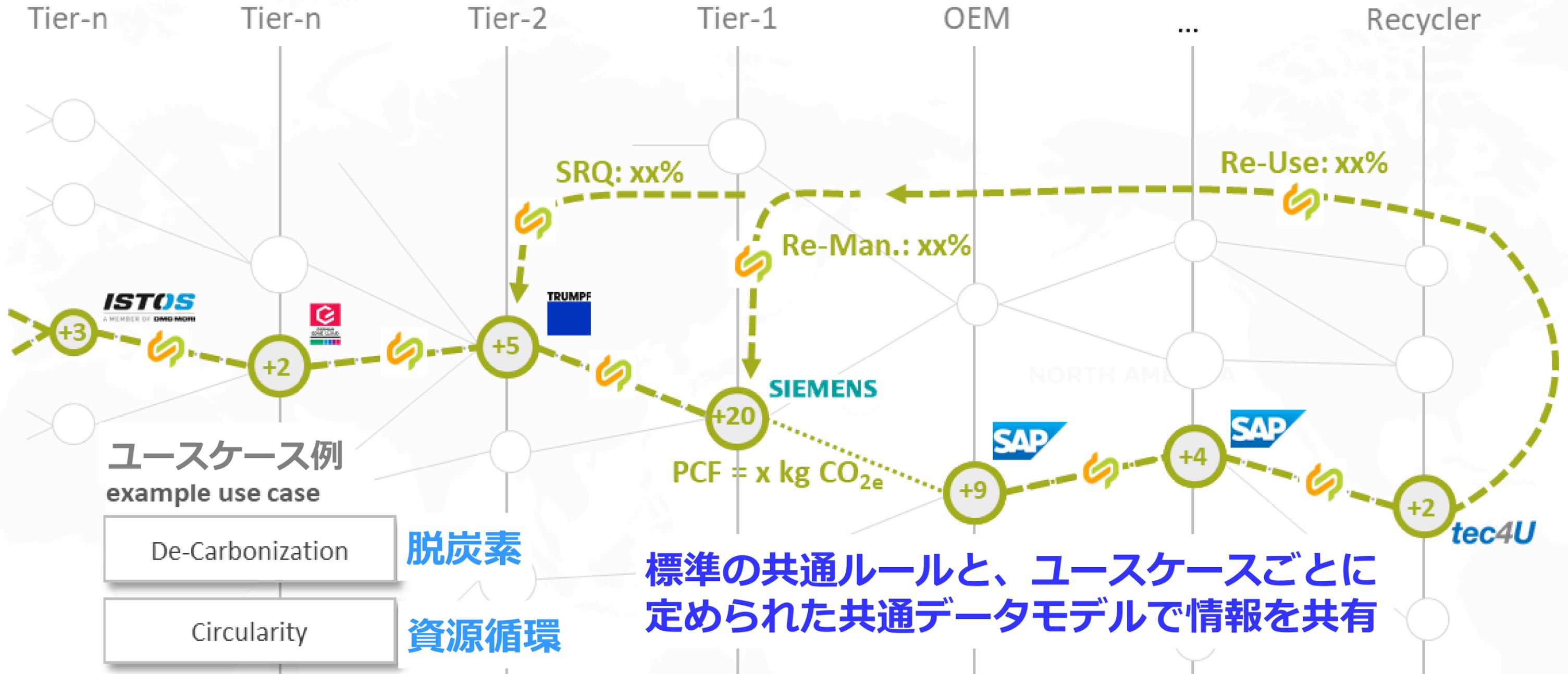
# データスペースで提供されるアプリケーションの例

10 business-critical end-to-end use case processes



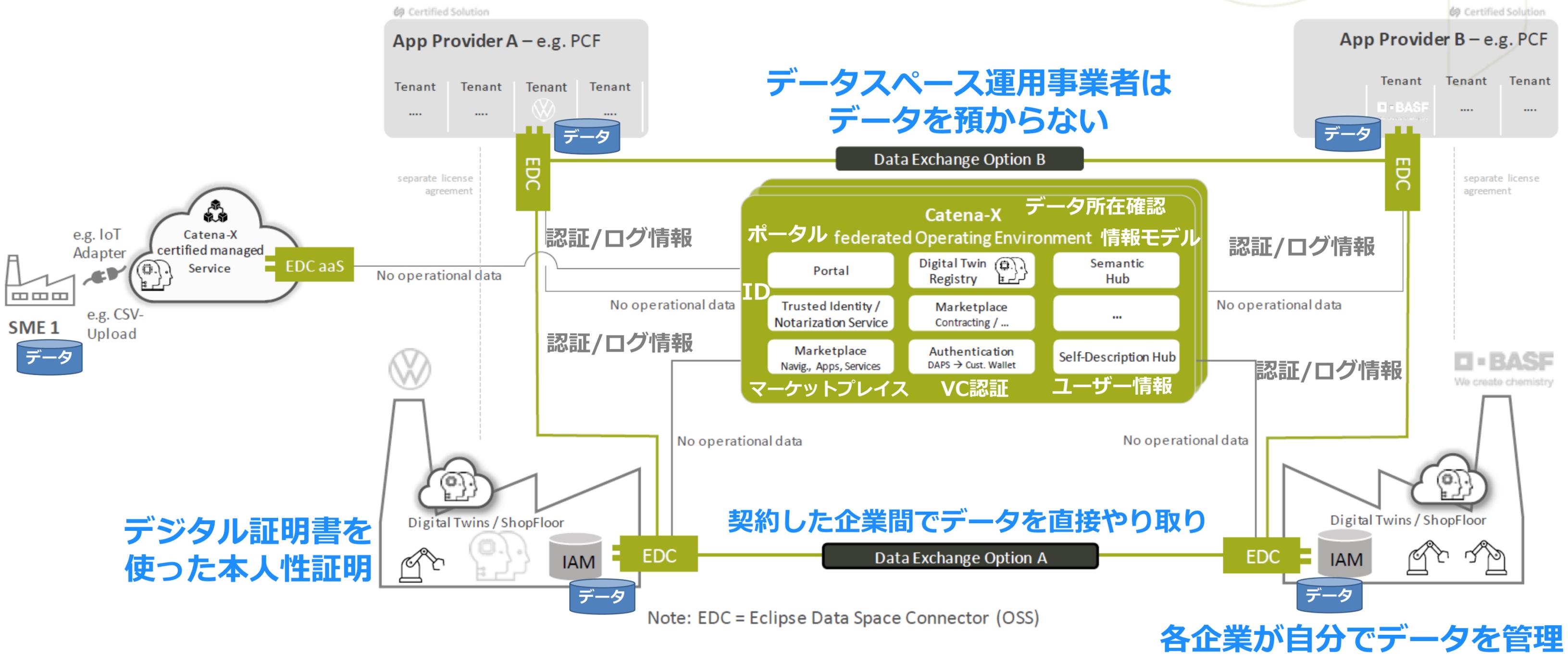
PCFデータ交換のアプリケーションサービスが提供され、各企業が利用可能

# バリューチェーン全体でPCFデータを円滑に共有



さまざまなベンダーのソフトウェア間でデータの連携・共有が可能に  
 ⇒ PCF 1次データを開示している製品が優先的に選ばれる可能性

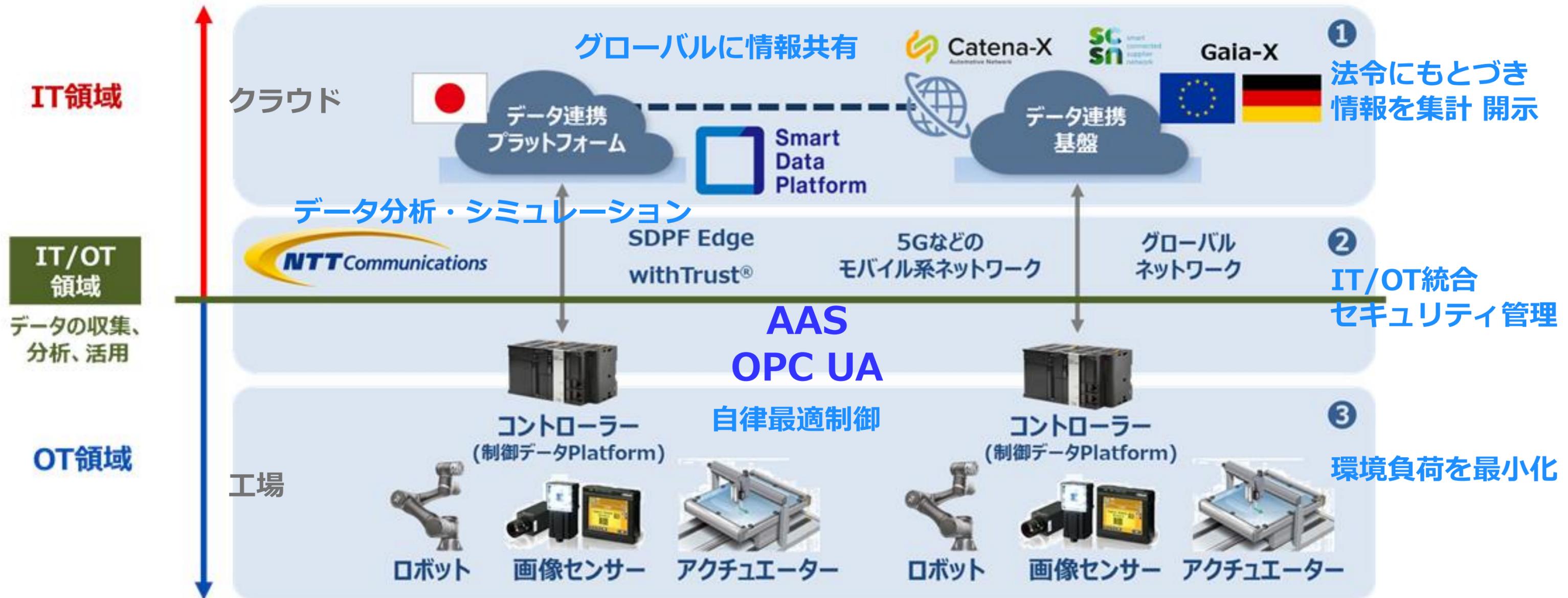
# データスペースにおける企業間データ共有の仕組み



運用事業者は参加企業の審査 登録を実施、データ交換は各社が直接1対1で実施

# グローバルデータスペースと製造現場の協調

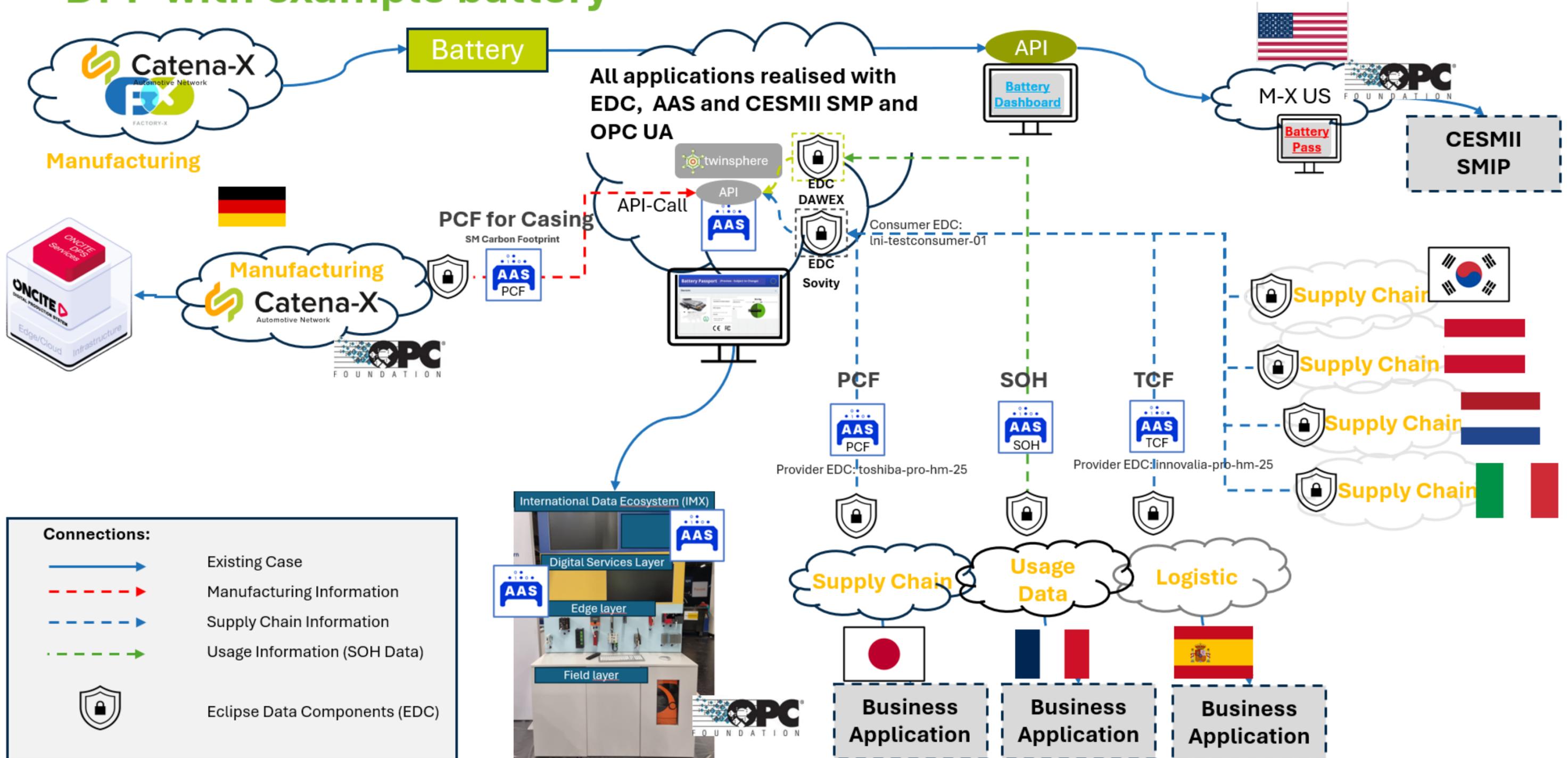
- ◆国内/海外のデータ連携基盤と相互接続できるIT層の情報プラットフォーム
- ◆高い生産性とエネルギー効率を両立するOT層の制御プラットフォーム
- ◆ITとOTを安全につなぐエッジコンピューターの連携、マネージドセキュリティサービスなど



標準プロトコルと標準データモデルを使って 横断検索や AIによる分析 予測を可能に

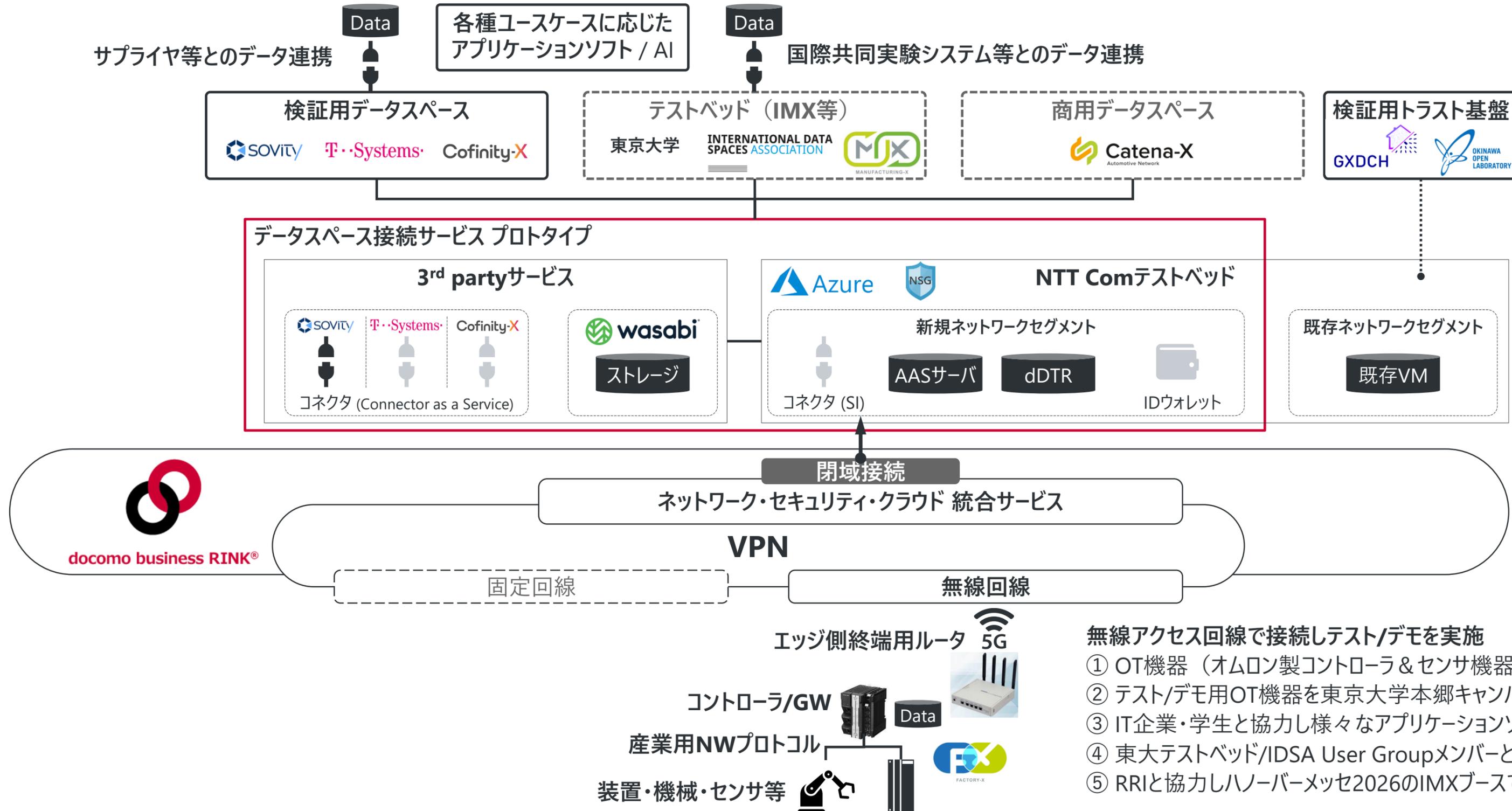
IMX Showcase

## DPP with example battery



# IMXと連携するデータスペース技術国際テストベッドのイメージ

AIを活用した予兆保全等のユースケースを想定し、データスペース技術を活用するデータ共有 & 分析システムを構築、ユーザ企業と一緒に評価・検証

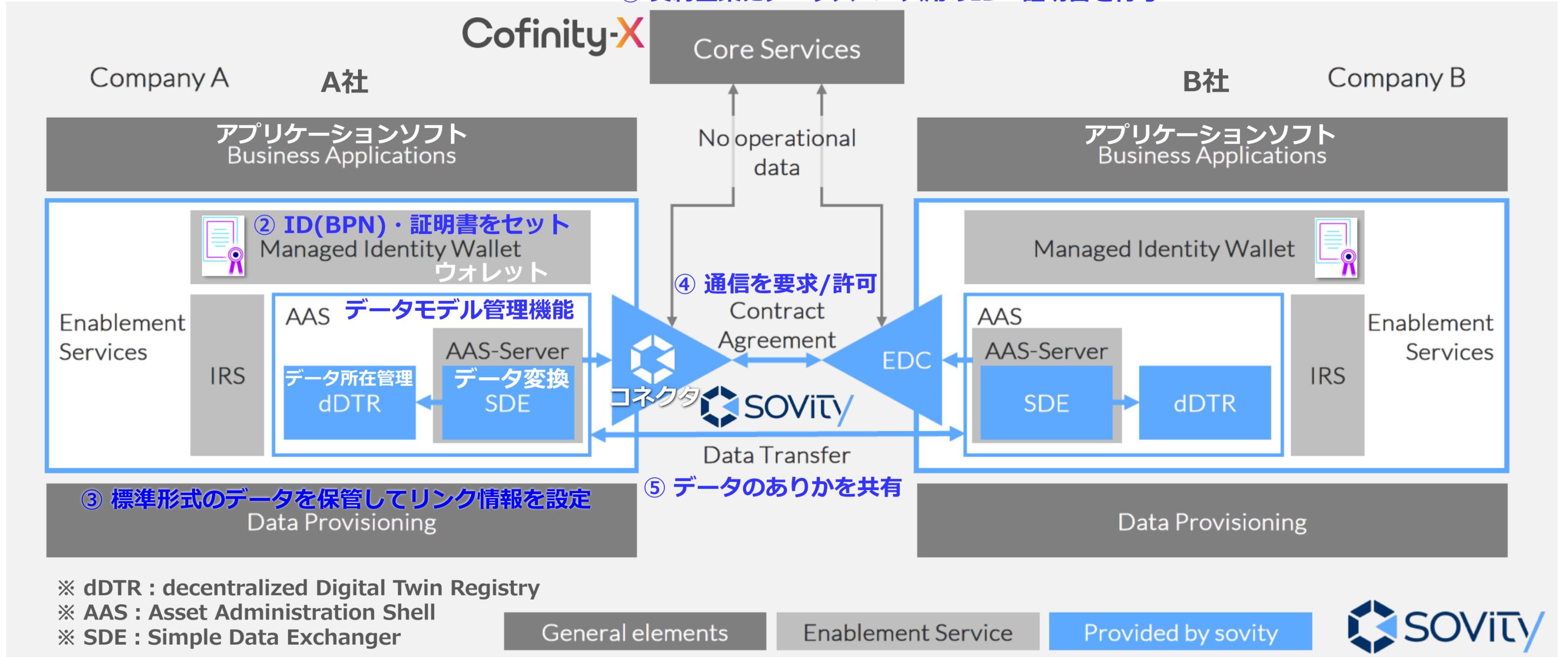


無線アクセス回線で接続しテスト/デモを実施

- ① OT機器 (オムロン製コントローラ&センサ機器等) を接続
- ② テスト/デモ用OT機器を東京大学本郷キャンパス内に設置
- ③ IT企業・学生と協力し様々なアプリケーションソフトを実装
- ④ 東大テストベッド/IDSA User Groupメンバーと評価・検証
- ⑤ RRIと協力しハノーバーメッセ2026のIMXブースでデモ展示

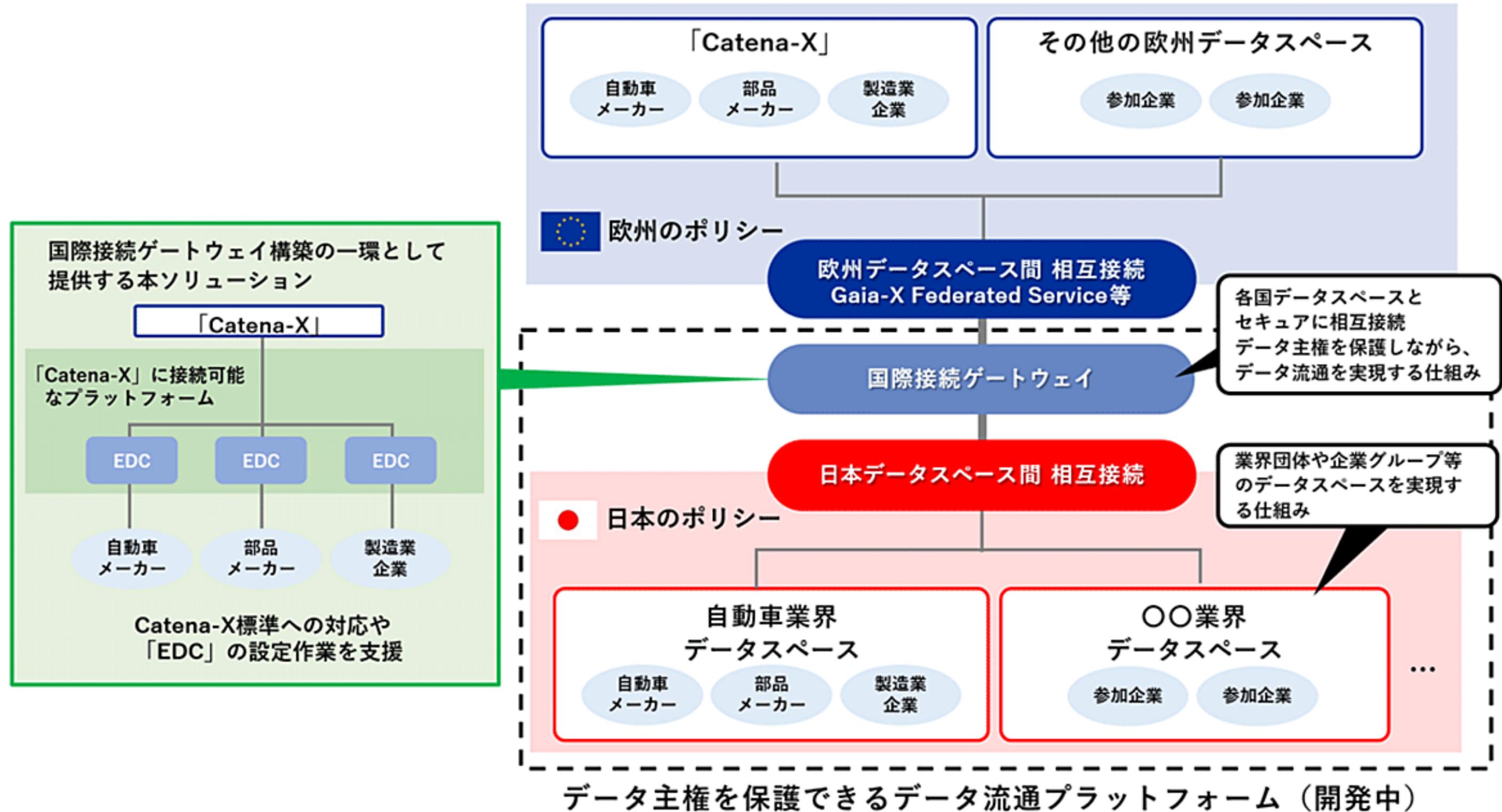
# データスペースにおけるデータ通信の仕様は複雑

① 契約企業にデータスペース用のID・証明書を付与



データスペースの利用者は、このような技術仕様に準拠して、データを通信する必要がある

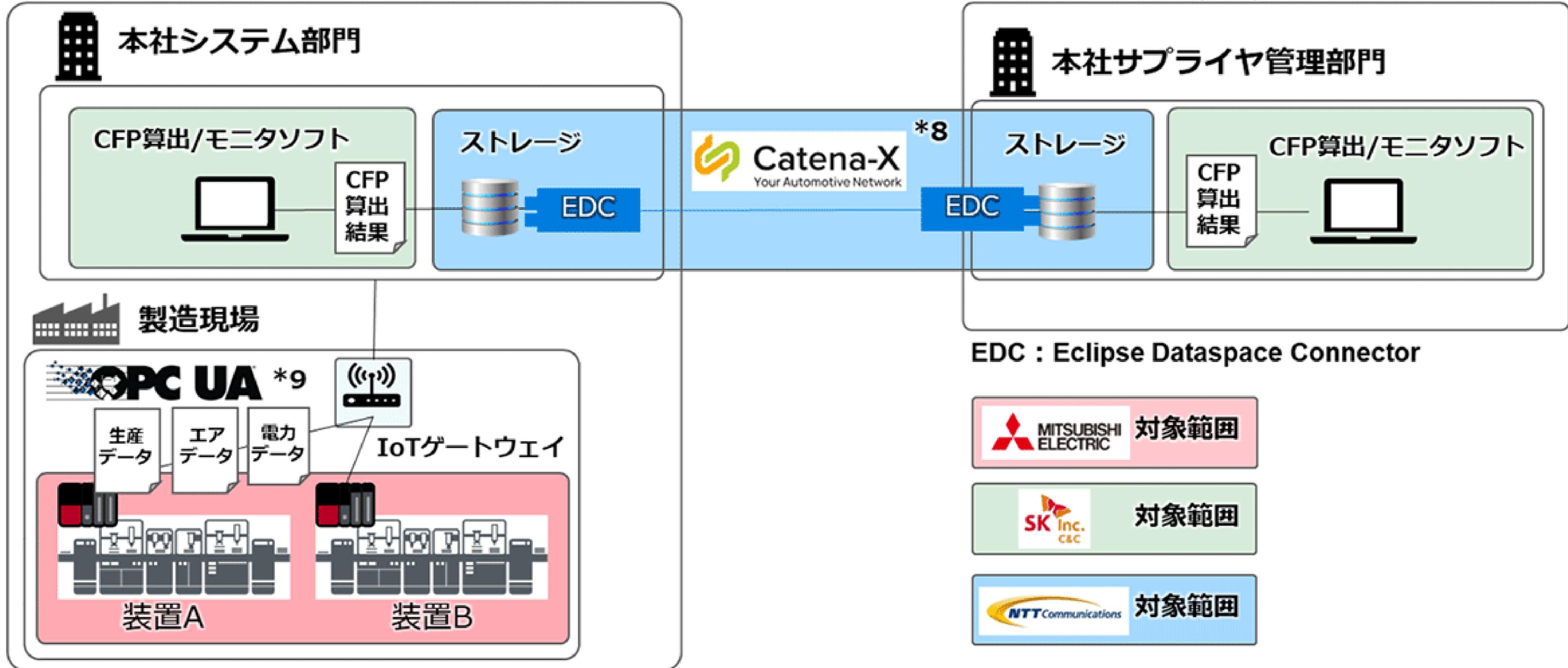
# データスペース接続を支援するサービスが必要



# データスペース接続支援ソリューションの例

リチウムイオン電池サプライヤ 

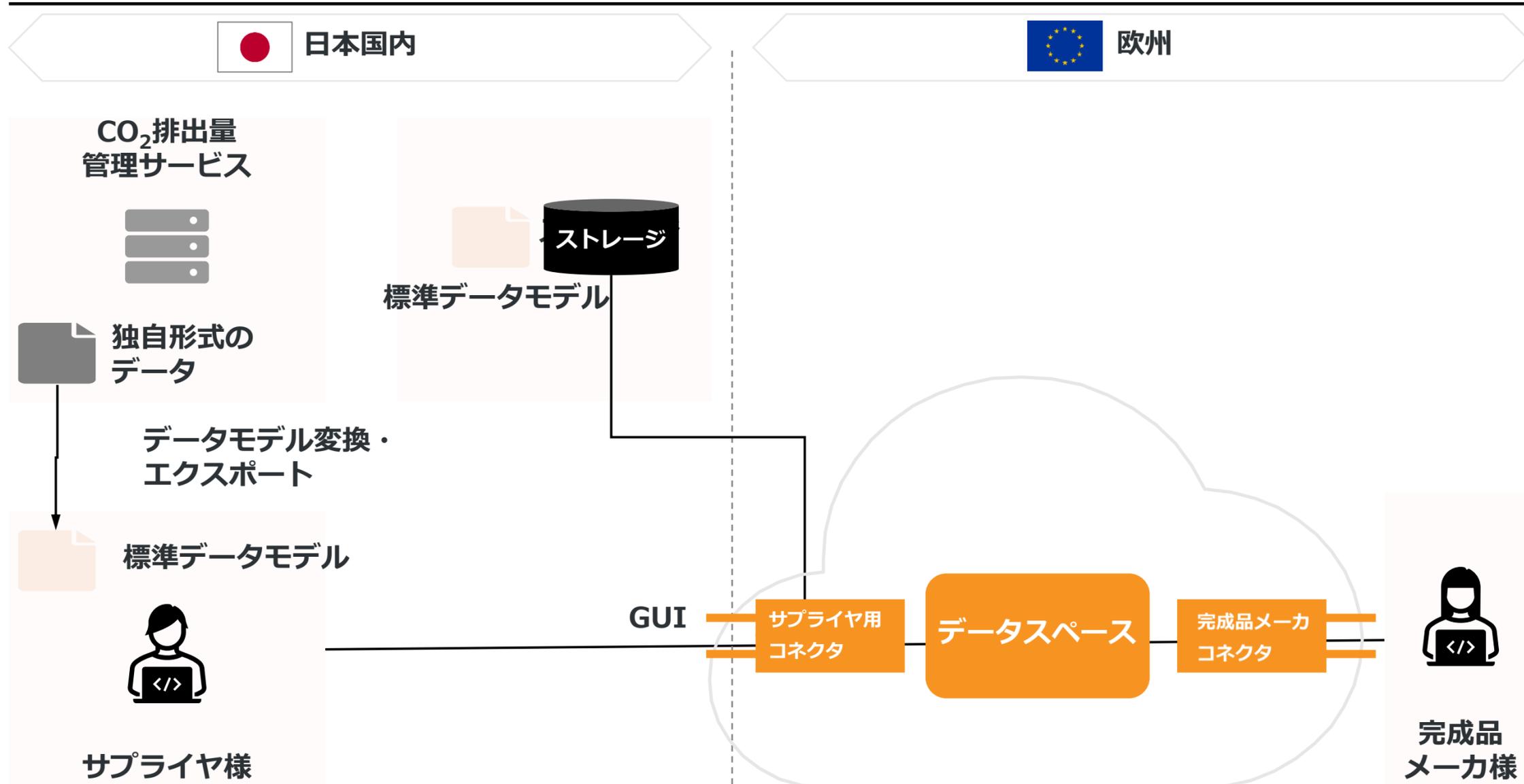
完成車メーカー 



# NTTのデータスペース接続サポートソリューション

- データスペースの活用方法を解説し、テスト用環境を利用して接続トライアルサービスを提供
- 既存のカーボンフットプリント管理ソフトウェアなどのデータを標準データモデルに変換して交換

## データスペーストライアル構成の例



## ベネフィット

### 課題:

- データスペースの接続方法がわからない
- データスペースの技術的な仕組みがわからない
- 業務プロセスをどのように変更すべきかわからない

### トライアルの効果:

- 接続に必要な各種契約手続きがわかる
- 実際のシステム設定画面を見て接続方法を学べる
- データスペースに対応する業務プロセスがわかる

**PCFデータ 収集 算定の相談から データスペース連携 アプリ導入までサポート**

**ご清聴ありがとうございました**

**今後のIMX/RRIの取組にもご期待ください**

**境野 哲 akira.sakaino@ntt.com**